

# 国際知財学術会議 創設へ

## 日米欧アの大学など参画

### 制度の改善・調和提言

日米欧やアジアの大学などの研究機関、学術研究者らが参画する「国際知財学術会議（仮称）」が創設される。京都大学で11月開催予定の知財の国際会議で提唱される。知財と学術の国際的な課題について学術面からの議論を深め、各国特許庁など制度当局に提言することが目的。イノベーションの促進にはグローバルな特許制度の改善や調和が課題となっている。同会議は学術分野から知財制度のあり方を模索、提言する国際的な場となり、大学の知財戦略の向上や新たな知財システム構築につながる可能性がある。

予定されているメンバーは、日米欧・アジアの知財を創出する大学、研究機関と知財にかかわる学術研究者ら。日本からは東京大学や京大などが参加する予定。具体的な時期や詳細は今後詰める。

11月12日に日本特許庁、米国特許商標庁、欧州特許庁の「日米欧三種特許庁長官会合」が京大で開催されることに合わせ、東大と京大は初の「アジア知財学術カンファレンス」（坂田 郎座長、東大政策ビジョン研究センター教授）を共催。欧米やアジアの知財関係者が一堂に会することから、国際的な知財学術会議の創設を求めることになった。

創設に向けた議論のため、12日午前が開かれる。国際知財学術会議の学術カンファレンスは、日中韓の学会が初めて連携し、12日午前が開かれる。国際知財学術会議の創設のほか、各国制度で

学術論文の審査体制整備、産学官の国際共同研究に関する知財ルールの共通化などが議論される。その結果を同日午後「日米欧三種知財シンポジウム」（特許庁主催）における松本紘京大総長らの講演に盛り込む。

知財と学術の関係は、

新日本建物はコンクリート躯体のみが完成した段階のマンション買取再販事業を始める。これまでは設備・内装までを含め、ほぼ完成した段階のマンションを対象としてきたが、買取再販事業の競争激化に伴い物件の対

同段階物件を対象とした買取再販事業は珍しい。未完成物件は破たんした開発業者やゼネコが行ってきた工事内容が不透明なため、建物の安全性が担保できず、事業継続が難しい。

新日本建物 自社施工で経費減

### NTTデータ 中国で金融向けサービス本格化 市場調査・人材を拡充

NTTデータは中国での金融向けサービス事業を本格化する。2010年度から、そのための現地事業基盤固めに着手する。共同で事業展開する現地パートナー企業の発掘や、現地のマーケティングなどを担う機能を現地法人のNTTデータ

ヤナ（北京市）に新たな司令塔と位置づけ、組織と人材の両面から体制を拡充、現地の事業基盤を強化する。具体的には、現地で共に金融向けサービスを進めるためのパートナー企業の検討、現地金融機関などのシステムに関するニーズを探

での金融向けビジネスの司令塔と位置づけ、組織と人材の両面から体制を拡充、現地の事業基盤を強化する。具体的には、現地で共に金融向けサービスを進めるためのパートナー企業の検討、現地金融機関などのシステムに関するニーズを探

る調査などを担当。また、金融向けパッケージなどの日本向け製品をパートナー企業と中国市場向けに改良するための機能も設ける。

NTTデータヤナは現在6人体制で中国ビジネスの企画立案を手がけており、マーケティング

グなどは日本のNTTデータが中心となって動いている。今後はそれらの機能を現地に任せるなど機動的な体制を敷く。それに伴い、従業員も数千人体制に増やす。人材は自社のグループ企業や、過去に中国でNTTデータと共同で金融向けシステムの開発プロジェクトに携わったパートナーなどから採用する。


これらと連動して、現地の人材育成にも着手する。自前のオフショア拠点である北京NTTデータや、システム開発を委託している現地企業の中から育成候補者を募る。NTTデータ独自のシステム開発方法を身に付けさせ、日本の金融向けシステムのノウハウを中国向けにも活用できるようにする。将来の現地プロジェクトリーダーを育てる考えだ。

また、上海地区の金融向けマーケティング活動を強化するため、7月に稼働したNTTデータヤナ上海事務所も増強。現在2人の体制を10年度中に10人程度まで増やす。

エコマシン認証 アピール

プレス・板金・フォーミング展

東京・有明の東京ビッグサイトまで開催中の「MF1 Tokyo 2009 プレス・板金



グリーンイノベーションを筆頭に、学術と産業技術が接近しており、特許制度やその運用、産学連携のあり方、大学の知財管理や活用策など再検討する必要性が指摘されている。日中韓というアジア3カ国の関係強化を創設に発展させる意向だ。

のグローバル化を背景に、米国や欧州を含めた国際的な知財学術会議の創設に発展させる意向だ。